

第7部－第2 市民スポーツ活動の推進

I まちづくり指標

協働指標	計画策定時の状況(平成12年)	前期実績値(平成15年)	中期実績値(平成18年)	目標値(平成22年)
週1回以上スポーツ活動を行っている市民の割合	—	32%	40%	50%

週1回以上スポーツ活動を行っている市民の割合を示す指標です。総合スポーツセンター(仮称)などの施設の整備や総合型地域スポーツクラブの設立などにより、スポーツを実施する市民の増加に努めます。

協働指標	計画策定時の状況(平成12年)	前期実績値(平成15年)	中期実績値(平成18年)	目標値(平成22年)
市のスポーツ施設等の利用者数	648,755人	777,032人	790,357人	850,000人

市のスポーツ施設やコミュニティ・センター・学校のスポーツ施設の利用者数により、スポーツ施設の活用度を示す指標です。利用時間の拡大やスポーツ情報予約管理システムの導入などにより、利用者数の拡大をめざします。

II 施策・主な事業の体系

1 情報提供と相談体制の確立

(1) 情報提供と相談体制の確立	※ ①健康づくりと連携した生涯スポーツの推進
	※ ②生涯スポーツプログラムの作成
	※ ③メディカルチェックシステムの活用
	④スポーツ情報予約管理システムの運用

2 生涯スポーツの振興

(1) 総合型地域スポーツクラブの設置と拡充	◎ ①総合型地域スポーツクラブの設置と拡充
(2) 地域スポーツ活動の推進	①コミュニティを基盤とした地域スポーツ活動の推進
(3) スポーツ教室・大会の充実	①スポーツ教室の充実
	②市民体育祭、東京都市町村総合体育大会への取り組み
(4) 東京国体の推進	※ ①東京国体開催に向けての準備体制の確立
(5) 市民団体との連携・活動支援	①市民スポーツ団体との連携、活動支援の推進

3 指導者の育成と人材の活用

(1) 指導者の養成	①スポーツ指導員の養成とスポーツプログラマー等の活用
(2) 指導者との連携と研修の充実	①指導者人財リストの整備と活用
	②指導者研修の充実

4 スポーツ施設の整備と連携の推進

(1) 総合スポーツセンター(仮称)の建設	◎ ①総合スポーツセンター(仮称)の建設仕様等の見直し
	◎ ②総合スポーツセンター(仮称)の建設・運営における民間活力の導入
(2) 大沢総合グラウンドの整備	◎ ①大沢総合グラウンドの整備
(3) コミュニティ・センターとの連携	①コミュニティ・センターとの連携
(4) 学校施設の整備と連携	①学校施設開放の推進
	②夜間照明などの整備
(5) 川上郷自然の村の活用	①校外学習施設を活用したスポーツ・レクリエーション活動の推進
(6) 民間施設の活用	①企業等の協力によるスポーツ施設開放の推進

5 推進体制の整備

(1) 民間活力の導入	※ ①(株)東京スタジアム・FC東京等との連携
(2) 市民管理方式の導入	※ ①スポーツ・レクリエーション施設の市民管理方式の導入

Ⅲ 主要事業(◎で示しています:事業内容は、追加・変更のあったもののみ記載)

2-(1)-① 総合型地域スポーツクラブの設置と拡充

生涯スポーツ振興の主要施策として推進する総合型地域スポーツクラブの設置・推進については、①単一種目だけでなく複数の種目を実施、②幼児から高齢者、障がい者までさまざまな年齢、技術・技能の人が参加、③拠点となるスポーツ施設とクラブハウスを持つ、④有資格の指導者による、それぞれのニーズに応じた指導、⑤地域住民により自主的に運営されていることが特徴とされています。三鷹市においてはコミュニティ活動を基礎として地域スポーツの推進を図ってきた独自性を踏まえ、総合型地域スポーツクラブの運営における各地域の市民や小中学校、関係団体などとの連携のあり方や、クラブハウス等の活動拠点の整備などの課題について、現在モデルクラブを設置しており、検証・評価を行ったのち、全市的な展開をめざします。(市・市民・関係団体・民間・NPO等)

4-(1)-① 総合スポーツセンター(仮称)の建設仕様等の見直し

4-(1)-② 総合スポーツセンター(仮称)の建設・運営における民間活力の導入

健康・長寿社会の実現をめざして、民間を含めた市内スポーツ施設、医療・保健機関等との連携を図りながら、スポーツを中心とした総合的な健康づくりの推進の拠点となる総合スポーツセンター(仮称)の建設に取り組みます。

これまで社会経済状況の観点から、総合スポーツセンター(仮称)建設の実施時期の見直しを行ってまいりましたが、今後は、三鷹市におけるファシリティ・マネジメントの推進方針や公共施設の整備方針の検討と合わせて、総合スポーツセンター(仮称)の建設地や施設のあり方及びPFI(注1)を含めた整備手法について検討を進めます。(市・市民・関係機関・関係団体・民間)

(注1) PFI(プライベート・ファイナンス・イニシアティブ)

公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う新しい手法

4-(2)-① 大沢総合グラウンドの整備

市民の屋外でのスポーツ・レクリエーション活動を推進するため、調布基地跡地の武蔵野の森公園内や野川大沢調節池を活用して、自然と調和した大沢スポーツ公園を整備します。

大沢第2グラウンドのスポーツ施設については、野川大沢調節池の底面を活用し、先行して大沢野川グラウンドとして整備しました。また現大沢総合グラウンドについても、東京都の公園整備計画にあわせて、都及び関係自治体と協議の上、整備を進めます。(市・都)

Ⅳ 新規・拡充事業(※で示しています:事業内容は、追加・変更のあったもののみ記載)

1-(1)-① 健康づくりと連携した生涯スポーツの推進

1-(1)-② 生涯スポーツプログラムの作成

1-(1)-③ メディカルチェックシステムの活用

2-(4)-① 東京国体開催に向けての準備体制の確立

平成25年に東京で開催される第68回国民体育大会の開催に向けて、準備委員会の設立及び競技場の整備・運営体制の確立を図ります。(市・都・市民・関係団体)

5-(1)-① (株)東京スタジアム・FC東京等との連携

5-(2)-① スポーツ・レクリエーション施設の市民管理方式の導入

スポーツ・レクリエーション施設について、ボランティアグループ、自主管理組織又は総合型地域スポーツクラブの組織及び財政状況を踏まえて、市民管理・運営方式を導入します。

(市・市民・関係団体・NPO等)